

ウォークラリー

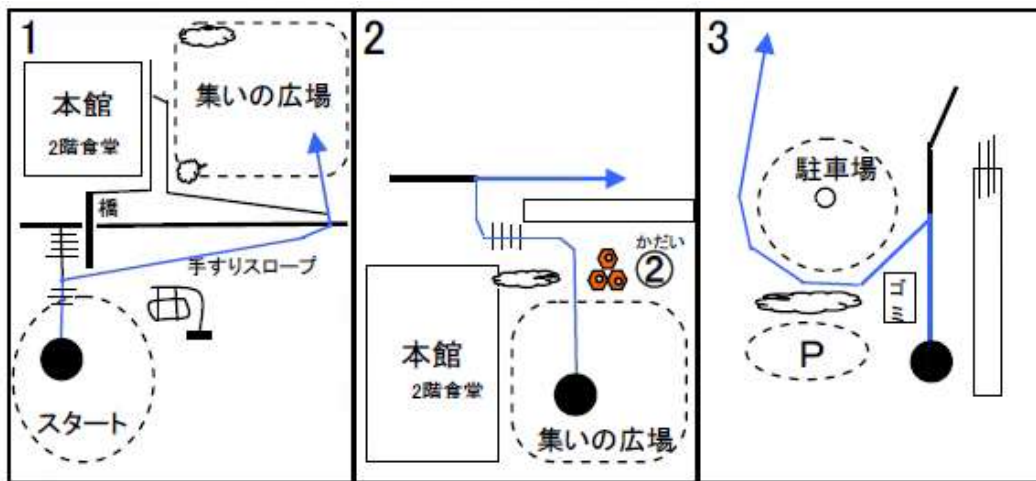


1 ウォークラリーとは

ウォークラリーは、**歩くことを楽しみながら、自然や歴史、文化などを発見**できる野外のプログラムです。“ラリー（競争）”といっても**歩く速さを競うわけではない**ので、ゆっくりと自然観察などを行うことができます。

“コマ図”という独特のコース図を頼りに歩きますが、コマ図を見ただけでは、どの方向に進めばいいのかわかりにくい場合がありますので、**一緒に歩く仲間との協力が大切**になります。

このため、ウォークラリーは、歩くことによる健康づくりだけでなく、**仲間とのコミュニケーションを深める**ことにも役立ちます。



当センターのコマ図（例）



実際のコース



2 ウォークラリーのルール

- 1グループ4～6人で、コマ図を基にコースを進み、ゴールを目指す。
- 途中のチェックポイントで**課題を解きながら、標準時間にできるだけ近い時間でグループ全員がゴール**することを競う。
- 全員が最終地点に到達し、ウォークラリー記録用紙（課題の解答表）を提出すると、ゴールが認められる。
- 順位は、「**課題得点**（課題の正解数）」と「**時間得点**（標準時間との差）」の合計得点で決まる。

※ 時間得点の例（標準時間：65分）

標準時間との差（ゴール時間）	点数	標準時間との差（ゴール時間）	点数
±5分以内（61分～70分）	100	±20分以内（46分～50分） （81分～85分）	85
±10分以内（56分～60分） （71分～75分）	95	±25分以内（41分～45分） （86分～90分）	80
±15分以内（51分～55分） （76分～80分）	90	±25分超（～40分） （91分～）	75

3 当センターで設定しているウォークラリーのコース

(1) 常設コース

- ① 3. 6kmコース（踏破に要する標準時間：1時間）
- ② 5. 5kmコース（踏破に要する標準時間：1時間30分）

いずれのコースも、時計回りの表コースと反対回りの裏コースがあります。

(2) 特設コース

参加者の年齢・能力、活動時間に応じたコースを設定することもできます。

4 準備物

○筆記用具 ○タオル ○コマ図 ○ウォークラリー記録用紙 ○防虫スプレー ○笛

※ センターからの貸し出し

品名	数量	品名	数量
ゼッケン	100	机	2
トランシーバー	7	椅子	6
バインダー	40	輪投げ（課題設定用）	3
ストップウォッチ	1	秤（課題設定用）	1

5 服装 ○長袖シャツ ○長ズボン ○履きなれた靴 ○帽子（できるだけ白いもの）

6 料金 無料（コマ図等をコピーする場合：1部10円（宿泊利用団体は無料））

なお、ウォークラリー運営のために大研修室（冷暖房完備）を使用する場合は、1時間760円（冷暖房料は別途必要）の料金が発生します（幼稚園・保育所・小中学校行事は、無料になる場合があります。）。

7 事前準備及び当日の流れ

○ 事前準備

（運営者）

センターとの打ち合わせ・コース下見

※できるだけ、センターでの打ち合わせ及びコース下見をお願いします。

参加者をグループ分け（4～6人）

運営者の役割分担を決定
○スタート・ゴール係（2名程度）
○立哨指導係（10名程度）

スタート・ゴール係の役割	立哨指導係の役割
<ul style="list-style-type: none">○本部を設営する。○参加者に必要な指示・連絡をする。○立哨指導係の準備完了を確認する。○順番に所定時刻にスタートさせる。○全員揃ったのゴールか確認する。○記録用紙を提出させる。○課題得点と時間得点を集計する。	<ul style="list-style-type: none">○チェックポイントに移動する。○位置や危険の有無を確認する。○準備完了を本部に連絡する。○トランシーバーで通過状況を知らせる。○事故防止のため連絡を密にする。○ルール違反があれば指導する。○全員通過後、異状の有無を確認する。

○ 当日の流れ

（運営者）

立哨指導係はポイントに出発

スタート場所に集合・本部設営

参加者に必要な指示・連絡

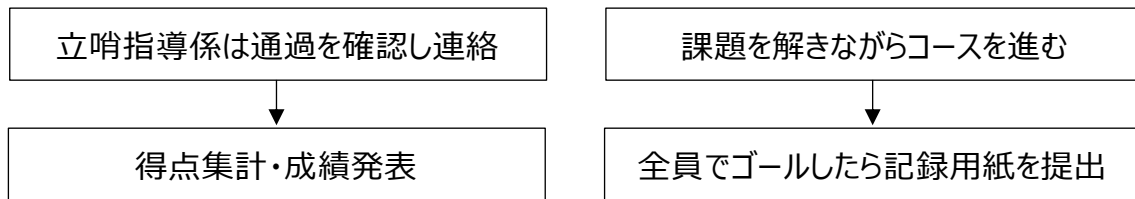
スタートを指示

（参加者）

スタート場所に集合

グループ編成

グループごとに順次スタート



8 運営者の留意事項

(1) スタート・ゴール係

別紙「ウォークラリーのルール及び注意事項」を配布して説明するなどにより、ルール及び注意事項について、参加者にしっかりと指示をしてください。

また、スタート・ゴール係として、別紙「運営者の留意事項」を確認し、適切に運営してください。

(2) 立哨指導係

立哨指導係も、別紙「運営者の留意事項」を確認し、適切に運営してください。

9 雨天時の対応

雨天時は、ウォークラリーを行うことが難しいと考えられますので、当センター職員と相談しながら、クラフト活動などの代替プログラムを決めておいてください。

ウォークラリーのルール及び注意事項

1 ウォークラリーのルール

- 1グループ4～6人で、コマ図を基にコースを進み、ゴールを目指す。
- 途中のチェックポイントで**課題を解きながら、標準時間にできるだけ近い時間でグループ全員がゴール**することを競う。
- 全員が最終地点に到達し、ウォークラリー記録用紙（課題の解答表）を提出すると、ゴールが認められる。
- 順位は、「**課題得点**（課題の正解数）」と「**時間得点**（標準時間との差）」の合計得点で決まる。

2 コマ図

- コマ図は、コースの分岐点や交差点の部分だけを示した図である。
- あるコマ図から次のコマ図までの距離は、一定ではない。また、方向（東西南北）も一定ではない。
- コマ図に示された建物や構築物の特徴などをヒントに進むこと。

3 注意事項

- グループ全員で協力し、そろって行動すること。
- 道に迷った時は、間違いのないと思う地点まで引き返すこと。
- 他のグループをだましたり、教え合ったりせず、フェアプレー精神で行うこと。

- 途中にトイレはないので、スタート前にトイレを済ませておくこと。
- 首・手首・足首に防虫スプレーをかけておくこと。
- 畑や私有地には立ち入らないこと。また、自然や公共物を大切にすること。
- マムシやスズメバチなどの危険生物、ウルシなどの危険植物に十分注意すること。
- 不測の事態が生じたときは、笛で合図すること。

運営者の留意事項

1 スタート・ゴール系の留意事項

- スタート前に参加者を一堂に集め、「ウォークラリーのルール及び注意事項」を配布して説明するなどにより、ルール及び注意事項について、参加者にしっかりと指示すること。
- スタート前に、参加者に体調不良の者がいないか確認するとともに、トイレを済ませて置くよう指示すること。
- 下記のスタート・ゴール系の役割を適切に果たすこと。

スタート時点

- 本部を設営する。
- スタート前に、参加者に必要な指示・連絡をする。
- 立哨指導係の準備完了後、各グループを正しく所定時刻（2～3 分間隔が望ましい）にスタートさせる。表・裏のコースがある場合は、同時スタートとする。

競技中

- トランシーバーで立哨指導係と適宜連絡を取り、必要に応じて指示をだす。

ゴール時

- 各グループが全員揃ってゴールしたか確認する。
- 記録用紙を提出させてゴール時刻を記入し、所要時間を計算する。
- 所要時間と標準時間との差から時間得点を算出し、時間得点を集計する。
- 結果を取りまとめて発表する。
- 終了後、本部を撤収する。

- 順位の決定方法

「**課題得点**（課題の正解数）」と「**時間得点**（標準時間との差）」の合計得点

※ 時間得点（標準時間：65分）

標準時間との差（ゴール時間）	点数	標準時間との差（ゴール時間）	点数
±5分以内（61分～70分）	100	±20分以内（46分～50分） （81分～85分）	85
±10分以内（56分～60分） （71分～75分）	95	±25分以内（41分～45分） （86分～90分）	80
±15分以内（51分～55分） （76分～80分）	90	±25分超（～40分） （91分～）	75

2 立哨指導係の留意事項

- 各チェックポイントまでの移動計画を立てておくこと。
- 下記の立哨指導係の役割を適切に果たすこと。

スタート前

- チェックポイントに移動する。
- 到着したら、チェックポイントの位置や周囲の危険の有無を確認するとともに、必ずトランシーバーの通信テストを行う。
- 準備完了を本部に連絡する。

競技中

- トランシーバーで通過状況を知らせるとともに、通過したグループを記録し、全グループの通過を確認する。
- 事故防止のため連絡を密にする。
- ルール違反があれば指導する。

全グループ通過確認後

- チェックポイントに異状がないことを確認したら、順次、本部に戻る。
- スタート・ゴール係の補助をする。